



白井貴子

シンガーソングライター

プロフィール

鷗沼生まれ。六会小学校卒。5・6年生の時、2年連続、藤沢市の小学校水泳大会（平泳ぎ）にて大会新記録で優勝。女子サッカー部（ポジションはFW）。フェリス女学院音楽科卒。

1981年デビュー。

84年「CHANCE」のスマッシュヒットをきっかけに「ロックの女王」の称号を得る。

1988年

2年間休養～充電のため英国へ移住。

1993年

横浜市立倉田小学校の校歌「大好き倉田小」制作。

2001年

神奈川県 of 21世紀の合唱曲「ふるさとの風になりたい」作曲。

2009年

神奈川県で開催された第61回全国植樹祭のテーマソング「森へ行こう！」作詞・作曲。

2013年

清川村の全村民の子供達のうた「みんなの未来」制作。

2014年

愛知県・岡山市で開催された「ESDユネスコ世界会議」を機にESD（持続発展教育）メッセージソング「僕らは大きな世界の一粒の命」制作。文部科学省より全国800校あるユネスコスクールと神奈川県 of 全小・中学校にCDと南流石さん振り付けのダンスDVDが配布された。フォーククルセダーズの北山修氏より「あの素晴らしい愛をもう一度」など一連の北山作品を歌い継ぐ役目を受け、新曲も共作。アルバムリリースに向けレコーディング中。

文部科学省 ESD オフィシャルサポーター（2012年度～2014年度）環境省 3R 推進マイスター・神奈川県環境大使・横浜市 YES アンバサダー・小田原ふるさと大使・海老名市森の楽校スペシャルアドバイザー。

藤沢への想いや好きなところについて

藤沢市の皆さん。お元気ですか？

2年前、高齢になる両親のプチ介護を機に藤沢に戻りました。81年デビューの時、実家を出た以来ですので34年ぶり、まさに帰郷と呼べるのかもかもしれません。幼い頃から父が転勤族だったので引越し～転校生の状況が多く、実のところ若い頃ま

で故郷がどこかわからないような感じでした。でも「ロックの女王」と呼ばれた時代の過労を癒すように88年に移り住んだ英国で「私の故郷は日本の湘南だ」とクッキリと痛感。

藤沢の「MATTARI」というブリティッシュパブで「FIRST CRY・産声」というタイトルでファンクラブの皆さんへのライブを開催し今に至っています。何が凄いて、藤沢に帰ってくると「たかちゃん！」と周りの人たちから呼ばれること（笑）そのド・ストレートな地元の皆さんの声に「もう私はどこにも逃げられない！」なんて冗談を言っていますが、でも、気付けば両親だけでなく同級生の友達の親も同時に年を重ねているので、小学校の頃、散々お世話になったご皆さんと共に過ごせることの喜びをひしひしと感じています。

私は「産声」というライブを開催した鵜沼の花沢町で生まれました。父が真冬に母を自転車に乗せて病院へ駆け込み生まれたんだそう。日本から遠く離れロンドンで暮らしたことで、世界各国、自分の国がなく彷徨っている人達が沢山いることを知りました。「期日を心配することなく自分が戻れる国、場所があるということは、なんと幸せなことなんだろう！」そう感動した時、「少しでもふるさとの役に立てる音楽家になろう」と決心をしたあの日。今、再び生まれた街、藤沢に戻ることができるので本当に幸せです。

私のエネルギーの原石が息づく藤沢市のさらなる幸を祈って「ふるさとの風になりたい」を歌い続けてゆきます。

皆さん、あらためてどうぞよろしくお願いします。

<オフィシャルホームページ>

<http://www.takako-shirai.jp/index2.html>